

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月6日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋堀留町二丁目2番1号(本社事務所)
【電話番号】	03(5645)7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期 連結累計期間	第41期 第2四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(百万円)	8,484	7,419	15,867
経常利益(百万円)	917	522	1,389
四半期(当期)純利益(百万円)	508	292	693
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	557	306	728
純資産額(百万円)	13,517	13,850	13,614
総資産額(百万円)	19,516	19,509	19,156
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	50.84	29.21	69.40
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	67.9	69.5	69.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	189	909	905
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	165	264	329
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	43	41	287
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	4,945	5,849	5,242

回次	第40期 第2四半期 連結会計期間	第41期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.00	15.02

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要が下支えとなり緩やかな回復を続けてきました。しかしながら、欧州、中国等海外経済の減速により輸出と生産活動は伸び悩んでおり、またエコカー補助金の終了などを受け個人消費も弱含みとなっております。さらに日中関係の悪化の影響等もあり経済の先行きは依然不透明な状況であります。

香料業界におきましても、震災の影響は払拭されつつありますが、消費者の低価格志向を背景とした製品価格の低下、主要購買層である若年層の減少等社会的環境もあり、国内市場は厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、海外経済の減速等の影響により合成香料・ケミカル事業と海外事業の売上高が大幅な減収となり、調合香料事業も前年と比較して減収となったことにより、7,419百万円（前年同期比12.6%減）となりました。利益につきましては、売上高の減少に伴う利益減により、営業利益は523百万円（同43.3%減）、経常利益は522百万円（同43.0%減）、四半期純利益は292百万円（同42.5%減）となりました。

主要なセグメントの売上高は、国内事業のうち、フレグランスとフレーバーの調合香料事業の売上高は、フレグランス、フレーバーともに減少し、前年同期比2.8%減の4,058百万円となりました。合成香料・ケミカル事業は、合成香料の売上高が中国、欧州市場の景気悪化による需要低迷の影響等により大幅に減少し、ケミカル製品も受託製品が減少となったため、前年同期比26.6%減の1,966百万円となりました。また、海外事業は主力の中国市場の低迷により前年同期比20.0%減の765百万円となりました。

#### （2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して606百万円増加し、5,849百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは644百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は909百万円（前年同期比719百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が511百万円、減価償却費が247百万円、仕入債務の増加が259百万円、棚卸資産の減少が85百万円となったこと及び法人税等の支払額が191百万円となったこと等によるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は264百万円（同98百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は41百万円（同1百万円の支出減）となりました。これは借入金の増加28百万円と配当金の支払い169百万円によるものです。

#### （3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### （4）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、500百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月6日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,000,000	10,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	10,000	-	1,490	-	1,456

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	5,001	50.01
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	1,500	15.00
ノムラピービーノミニーズ テイクオーバーワリミテッド (常任代理人 野村証券株式会 社)	1 ANGEL LANE LONDON EC4R 3AB,U.K  (東京都中央区日本橋1-9-1)	397	3.97
曾田 義信	東京都大田区	364	3.64
曾田香料従業員持株会	東京都中央区日本橋堀留町2-2-1	346	3.46
谷本 正敏	東京都中野区	210	2.10
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	107	1.07
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	100	1.00
仙波糖化工業株式会社	栃木県真岡市並木町2-1-10	95	0.95
ドイチェ バンク アーゲー ロン ドン ピービー ノントリティー クライアントツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株式会 社)	TAUNUSANLAGE 12,D - 60325 FRANKFURT AM MAIN,FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY  (東京都千代田区永田町2-11-1 山王 パークタワー)	92	0.92
計	-	8,214	82.14

(注) タワー投資顧問株式会社から平成20年5月21日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成20年5月15日現在で502千株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、タワー投資顧問株式会社の大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者           タワー投資顧問株式会社  
 住所                   東京都港区芝大門1丁目2番18号 野依ビル2階  
 保有株券等の数       株式 502,000株  
 株券等保有割合      5.02%

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,996,000	99,960	-
単元未満株式	普通株式 500	-	-
発行済株式総数	10,000,000	-	-
総株主の議決権	-	99,960	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,500	-	3,500	0.03
計	-	3,500	-	3,500	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,242	5,849
受取手形及び売掛金	4,357	4,290
商品及び製品	1,173	1,156
仕掛品	1,165	1,090
原材料及び貯蔵品	1,186	1,198
その他	325	359
貸倒引当金	5	2
流動資産合計	13,445	13,942
固定資産		
有形固定資産	4,254	4,174
無形固定資産	78	106
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,381	1,290
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	1,377	1,286
固定資産合計	5,710	5,567
資産合計	19,156	19,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,865	2,129
短期借入金	362	390
未払法人税等	180	161
賞与引当金	350	344
役員賞与引当金	14	6
その他	690	601
流動負債合計	3,464	3,633
固定負債		
退職給付引当金	1,805	1,775
役員退職慰労引当金	158	120
その他	114	129
固定負債合計	2,078	2,025
負債合計	5,542	5,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,490	1,490
資本剰余金	1,456	1,456
利益剰余金	10,476	10,698
自己株式	2	2
株主資本合計	13,420	13,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	60
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	147	136
その他の包括利益累計額合計	61	75
少数株主持分	254	282
純資産合計	13,614	13,850
負債純資産合計	19,156	19,509

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	8,484	7,419
売上原価	5,668	5,026
売上総利益	2,815	2,392
販売費及び一般管理費	1,892	1,868
営業利益	923	523
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	9	10
受取補償金	-	3
受取保険金	6	-
その他	10	9
営業外収益合計	29	28
営業外費用		
支払利息	1	1
休止固定資産減価償却費	29	22
その他	5	5
営業外費用合計	35	28
経常利益	917	522
特別利益		
固定資産売却益	-	5
特別利益合計	-	5
特別損失		
固定資産除却損	9	8
投資有価証券評価損	-	3
事務所移転費用	-	4
災害による損失	21	-
貸倒引当金繰入額	2	-
特別損失合計	33	16
税金等調整前四半期純利益	883	511
法人税等	342	197
少数株主損益調整前四半期純利益	541	314
少数株主利益	32	22
四半期純利益	508	292

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	541	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	24
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	11	16
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	16	8
四半期包括利益	557	306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520	278
少数株主に係る四半期包括利益	36	27

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	883	511
減価償却費	269	247
のれん償却額	8	8
固定資産除却損	2	5
固定資産売却損益(は益)	-	5
投資有価証券評価損益(は益)	-	3
移転費用	-	4
災害損失	21	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	8	2
賞与引当金の増減額(は減少)	1	7
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4	7
退職給付引当金の増減額(は減少)	3	67
受取利息及び受取配当金	13	15
支払利息	1	1
売上債権の増減額(は増加)	444	77
たな卸資産の増減額(は増加)	385	85
仕入債務の増減額(は減少)	360	259
その他	69	8
小計	633	1,091
利息及び配当金の受取額	13	15
利息の支払額	1	1
移転費用の支払額	-	4
災害損失の支払額	48	-
法人税等の支払額	408	191
営業活動によるキャッシュ・フロー	189	909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	8	9
有形固定資産の取得による支出	134	313
有形固定資産の売却による収入	-	5
無形固定資産の取得による支出	7	1
その他	14	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	165	264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	131	28
長期借入金の返済による支出	100	-
配当金の支払額	69	69
少数株主への配当金の支払額	4	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	43	41
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	4
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	10	606
現金及び現金同等物の期首残高	4,956	5,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,945	5,849

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	59百万円	54百万円
支払手形	62	52

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料及び手当	614百万円	645百万円
賞与引当金繰入額	238	209
役員賞与引当金繰入額	7	6
退職給付費用	84	66
役員退職慰労引当金繰入額	15	13
貸倒引当金繰入額	5	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	4,945百万円	5,849百万円
現金及び現金同等物	4,945	5,849

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	69	7	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月1日 取締役会	普通株式	69	7	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	69	7	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	69	7	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	調合香料 事業	合成香料・ ケミカル 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,177	2,680	957	7,814	669	8,484	-	8,484
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	375	299	26	701	42	744	744	-
計	4,552	2,979	983	8,516	712	9,228	744	8,484
セグメント利益	569	206	171	947	47	995	71	923

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業等を含んでおります。

- セグメント利益の調整額 71百万円には、のれんの償却額 8百万円、棚卸資産の調整額 63百万円及びセグメント間取引消去等0百万円が含まれております。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	調合香料 事業	合成香料・ ケミカル 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,058	1,966	765	6,791	628	7,419	-	7,419
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	310	243	23	577	29	607	607	-
計	4,369	2,210	789	7,369	657	8,026	607	7,419
セグメント利益 又は損失( )	423	53	113	483	28	511	12	523

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業等を含んでおります。

- セグメント利益又は損失( )の調整額12百万円には、のれんの償却額 8百万円、棚卸資産の調整額39百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等 19百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券については、企業集団の事業運営において重要なものではなく、かつ、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引は全てヘッジ会計を適用しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	50円84銭	29円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	508	292
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	508	292
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成24年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....69百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....7円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月30日

曾田香料株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木村 聡 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	打越 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。